ＪＲ九州グループ労働組合連合会

ＪＲ九州連合情報

No.52

２０２５年１１月２５日

発行責任者　吉田祥司
編集責任者　鎗光俊勝

ＪＲ九州連合第35回定期大会を開催！！

ＪＲ九州グループ労働組合連合会（ＪＲ九州連合）は11月21日、福岡市内において第35回定期大会を開催した。「労使の信頼関係構築に全力をあげ、安全・安心で将来に希望が持てるＪＲ九州グループを創造しよう！」のスローガンのもと、会場に参集した執行部・代議員の総勢約60名による真摯な議論のもと、2025年度活動方針を満場一致で決定した。

ＪＲ九州連合　吉田会長（左）
鎗光事務局長（右）

冒頭、幹事会を代表して挨拶した吉田祥司会長（ＪＲ九州労組・中央執行委員長）が安全・安心の確立とさらなる追求、組織の強化・拡大、労働条件の改善と政策課題への対応について所信を述べたうえで、「安全を基礎にＪＲ九州で働く者の地位向上に取り組むとともに、多様性・包摂性を大切にしながら、お互いを尊重し理解し合える組織づくりをめざしていく」と力強く述べた。

来賓では、こくみん共済coop福岡推進本部の大塚正彦事業推進部次長、九州労働金庫博多支店の大河貴幸次長、明治安田生命の山口雄二チーフ、ＪＲ九州 人事部の池田裕記担当部長、そしてＪＲ連合の上村良成会長・住吉一家労働政策局長にお越しいただき、それぞれ連帯の挨拶をいただいた。ＪＲ連合を代表して挨拶に立った上村会長は、冒頭、至近のＪＲ産業の組織情勢や政策課題の動向等に触れたうえで、安全の確立、２０２６春季生活闘争、男女平等参画の３点に亘って、それぞれ課題認識と今後の取り組みについて所信を述べた。

ＪＲ連合 上村会長

議事では、幹事会より①2024年度活動経過、②2024年度決算報告、③会計監査報告、④2025年度活動方針案、⑤2025年度予算案が提起され、代議員２名による発言の後、鎗光俊勝事務局長（ＪＲ九州労組・中央執行副委員長）は総括答弁で「ＪＲ九州連合の活動はＪＲ九州グループに働く仲間の声を拾い、助け合い、支え合うこと。すべての仲間が活き活きと働き、明るい将来展望を描くことができる仕事・職場を創りあげるため、加盟単組が一丸となって全力で取り組んでいく」と決意を述べた。その後、全議案が満場一致で承認され、最後に吉田会長の団結がんばろうで大会を締めくくった。

労働基準関係法制の見直しの概要を全体で共有！

ＪＲ連合 住吉労働政策局長による学習会

大会の前段ではＪＲ連合の住吉労働政策局長による「労働基準関係の見直し・労使コミュニケーションの在り方」についての学習会を開催した。学習会では、ＪＲ東日本の至近の組織情勢や社友会に関する動向、さらには労働基準関係法制の見直しに関する連合や経団連、厚生労働省等の動向について共有がなされた。ＪＲ連合は民主主義の基盤である労働組合こそが労使コミュニケーションの主役であるべきとし、実効性ある労使自治の確立と組織率の向上にむけた政策支援を引き続き求めていくこととしている。